2015年12月期　第3四半期累計（1月－9月）決算説明資料

2015年10月29日

（東証1部 ： コード2174）

2015年第3四半期累計の業績

2015年第3四半期累計の総括

- ✓ 売上高は100億円、営業利益は19億円となった。アドバイザリー事業において、営業利益は前期比2.2倍と大幅増益。

- ✓ 日本での売上高はメガディールのクローズが大きく貢献し、前期比2倍と過去最高水準の売上高となった。

- ✓ 米国においても昨年に引き続き高い水準の受注残を維持している。受注残には、複数のメガディールも含まれている。

- ✓ 配当と自社株買いで100%株主還元する資本政策を継続する。
最低配当金は一株あたり年10円から20円へ増配し、中間配当金10円は８月に支払済（昨年の９月より１か月前倒しでの実施）。

- ✓ 第３四半期も3億円の自社株買いを実施。
自社株買いの予算は残り10億円。

2015年第3四半期累計の業績(ドメイン別売上)

- ✓ アドバイザリー事業は大幅増収、日本では前期比2倍の売上となった。
- ✓ アドバイザリー事業の営業利益は21億円、前期比2.2倍の増益。

（単位 :百万円）

	実績 (1)					
	2015 3Q	率	2014 3Q	率	前期比	増減率
売上高						
アドバイザリー日本	5,987		3,007		2,980	99.1 %
アドバイザリー米国	3,808		4,164		(356)	(8.5)%
アドバイザリー計	9,795		7,171		2,624	36.6 %
アセットマネジメント	212		2,435		(2,223)	(91.3)%
売上高合計	10,007		9,607		400	4.2 %
投資控除前 営業利益	2,167	21.7%	2,836	29.5%	(669)	(23.6)%
成長のための投資	252		271			
営業利益	1,915	19.1%	2,565	26.7%	(650)	(25.3)%
純利益	1,220	12.2%	1,516	15.8%	(296)	(19.5)%

「成長のための投資」には、シニアメンバーの採用費用、初年度のシニアメンバーの人件費等が含まれております。

アドバイザリー事業の売上高と営業利益

	実績 (1)					
	2015 3Q	率	2014 3Q	率	前期比	増減率
売上高						
アドバイザリー日本	5,987		3,007		2,980	99.1 %
アドバイザリー米国	3,808		4,164		(356)	(8.5)%
アドバイザリー計	9,795		7,171		2,624	36.6 %
営業利益	2,132	21.8%	971	13.5%	1,161	119.6 %

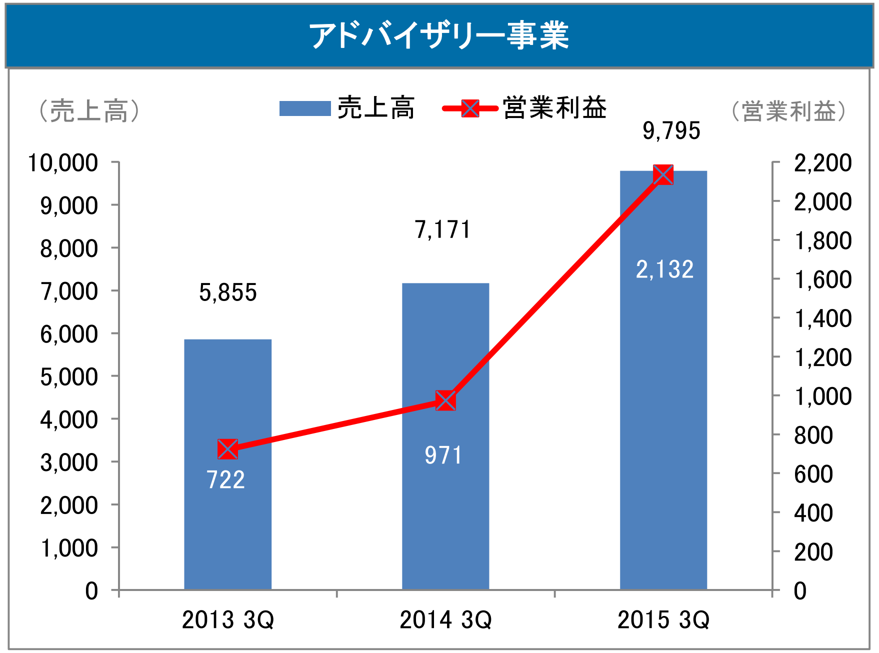
注) 2015年3Q実績の平均為替レート: ¥120.90/US$および¥185.34/GBP、2014年3Q実績の平均為替レート: ¥102.96/US$および¥171.86/GBP

GCA SAVVIAN™

2015年第3四半期累計のアドバイザリー事業の業績

✓ アドバイザリー事業の売上高は前期比37%の増収、営業利益は約2.2倍の増益。
✓ 通期では過去最高の売上高となる見込み。

（単位：百万円）



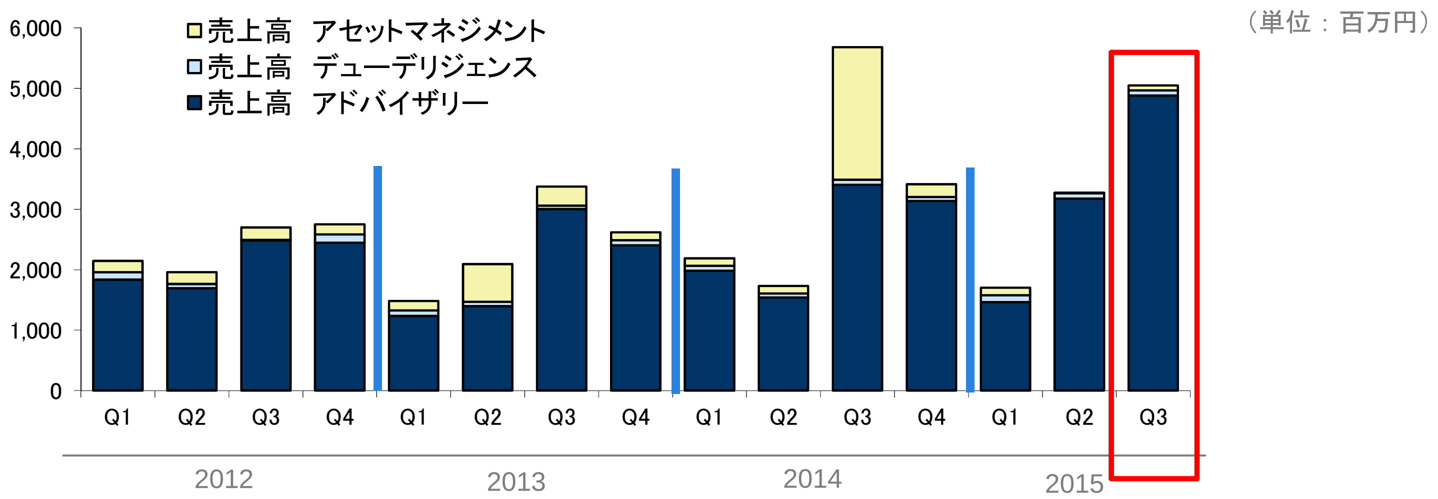
GCA SAVVIAN

注） *前期よりインドおよび中国の現地法人を連結の範囲（日本リージョン）に含めています。*
2015年3Q実績の平均為替レート：¥120.90/US$および¥185.34/GBP、2014年3Q実績の平均為替レート：¥102.96/US$および¥171.86/GBP
2013年3Q実績の平均為替レート：¥96.71/US$および¥149.39/GBP

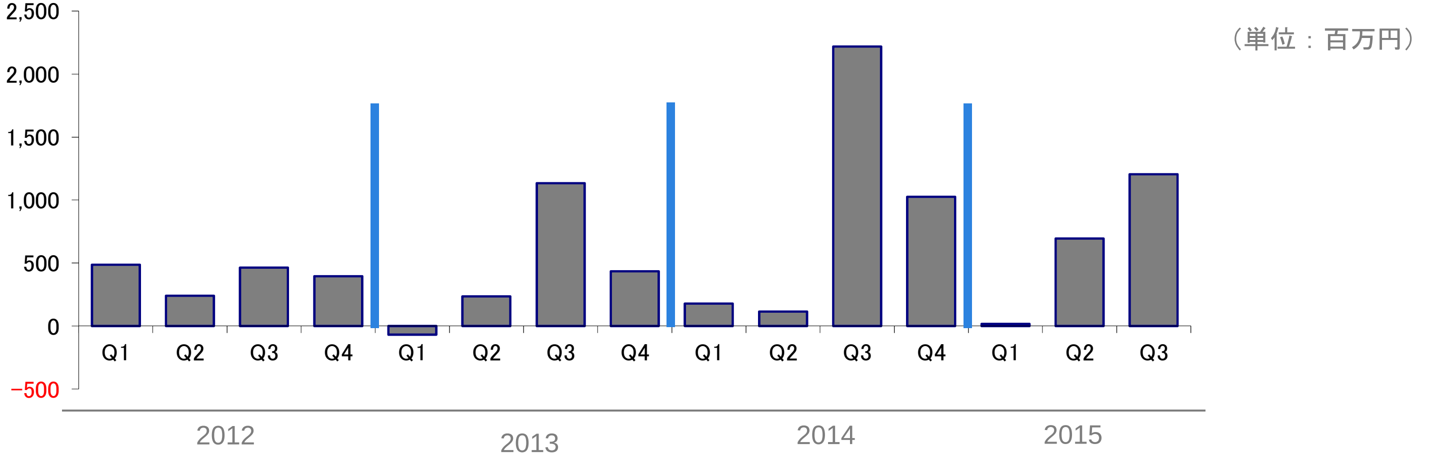
売上・営業利益の四半期推移

✓ アドバイザリー事業は過去の四半期と比較して最高水準の売上高となった。

売上　四半期推移 （ファンド非連結ベース）



営業利益　四半期推移 （ファンド非連結ベース）



GCA SAVVIAN

GCAサヴィアンのランキング

✓ 2015年3Qの日本関連リーグテーブルにて取引金額ベースで第7位

2015年3Q　日本企業のM&Aにかかわった ファイナンシャルアドバイザー（完了案件ベース）			
	アドバイザー	取引金額 JPY mil.	案件数
1	野村証券	712,672	22
2	みずほFG	610,024	30
3	ゴールドマンサックス	460,282	2
4	ロスチャイルド	460,282	1
5	三菱UFJモルガンスタンレー	309,018	5
6	メリルリンチ	308,922	3
7	GCAサヴィアン	267,667	6
8	三井住友FG	137,202	24
9	大和証券	75,159	8
10	BNPパリバ	47,870	1

出所）トムソンロイター

バランスシート

- ✓ 自己資本比率は68 %と高水準を維持
- ✓ シンプルで健全なバランスシート

（単位：百万円）

科目	2015/9 (1)	2014/12 (2)
現預金等	8,561	9,412
売掛金	2,129	918
営業投資有価証券	153	598
その他	2,020	516
流動資産	12,865	11,443
有形固定資産	208	199
投資有価証券	233	319
その他	863	1,227
固定資産	1,305	1,744
資産合計	14,170	13,188
未払法人税	1,190	879
その他	3,395	3,597
負債合計	4,585	4,476
株主資本	8,765	7,819
自己株式	0	(241)
為替換算評価額等	819	1,135
純資産合計	9,584	8,712
負債・純資産合計	14,170	13,188
自己資本比率→	68%	66%

注 (1)2015年9月30日の為替レート：¥119.97/US$および¥181.86GBP
(2)2014年12月31日の為替レート：¥120.53/US$および¥187.01GBP

GCA SAVVIAN™

2015年3Qの代表的な案件

日米それぞれの主な国内案件

JT
SUNTORY

日本たばこ産業が保有する飲料自販機オペレーター事業子会社及び清涼飲料ブランドの譲渡
（日本たばこ産業へのアドバイザリー）

2015年7月完了

Zillow
dotloop

Zillowによるdotloopの買収
（dotloopへのアドバイザリー）

2015年8月完了

クロスボーダー案件

THK
TRW

THKによるTRW Automotiveの米・加・独・チェコのLinkage and Suspension事業の買収
（THKへのアドバイザリー）

2015年8月完了

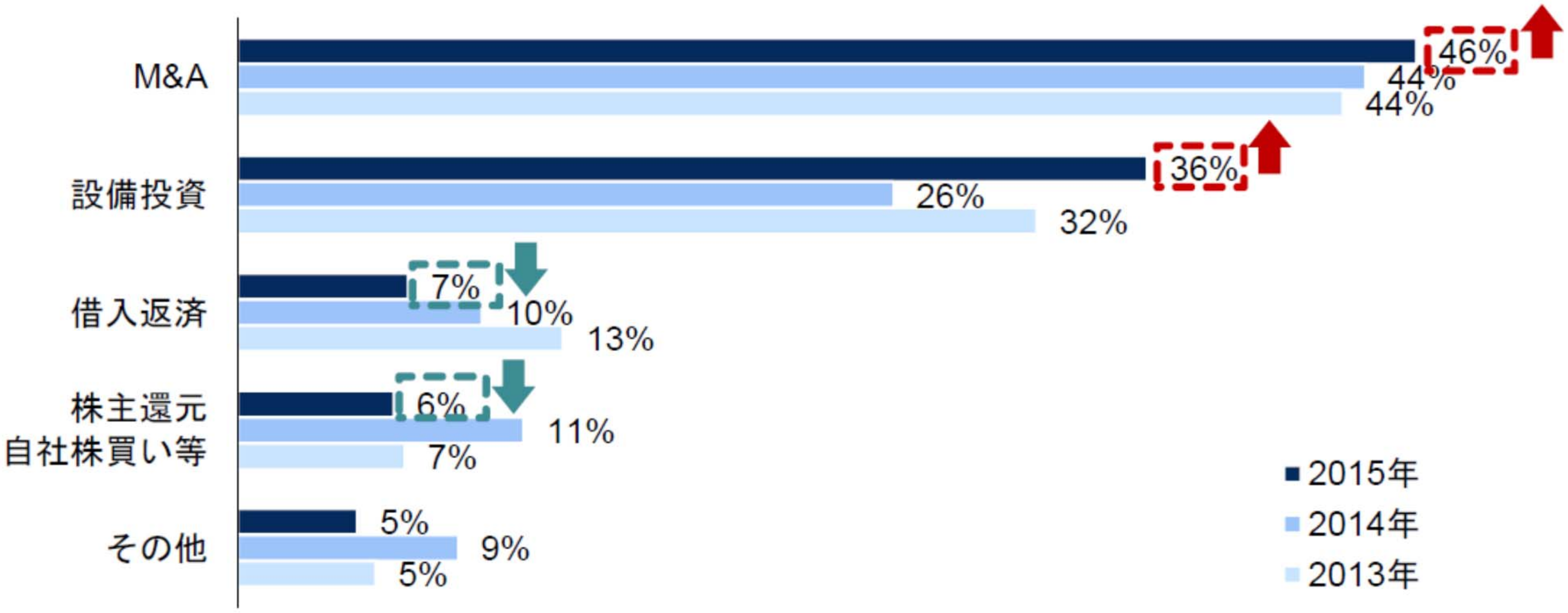
ROHM SEMICONDUCTOR
powervation

ロームによるPowervation Limitedの買収
（ロームへのアドバイザリー）

2015年7月完了

日本企業による投資の優先項目はＭ＆Ａ

- ✓ 日本企業による投資の優先項目は引き続き「Ｍ＆A」。
- ✓ コーポレートガバナンス改革が進む中で、より長期的な視点で企業価値向上に軸足を移す傾向となっている。

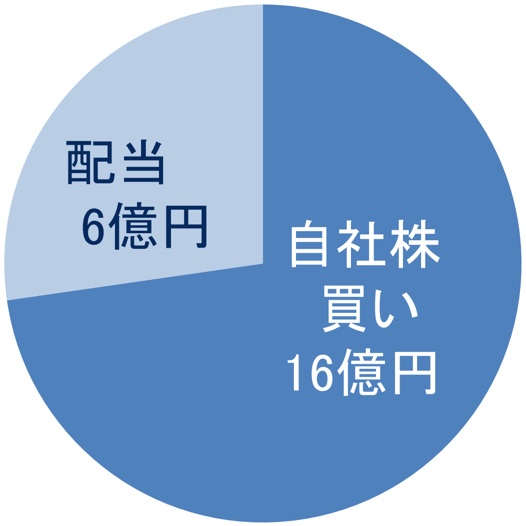


出所: 当社調べ、調査期間2015年7月14日～7月28日、有効回答数 430名/239社

資本政策の基本ポリシー

総株主還元率　＝　100%

（配当と自社株買いで100%還元）



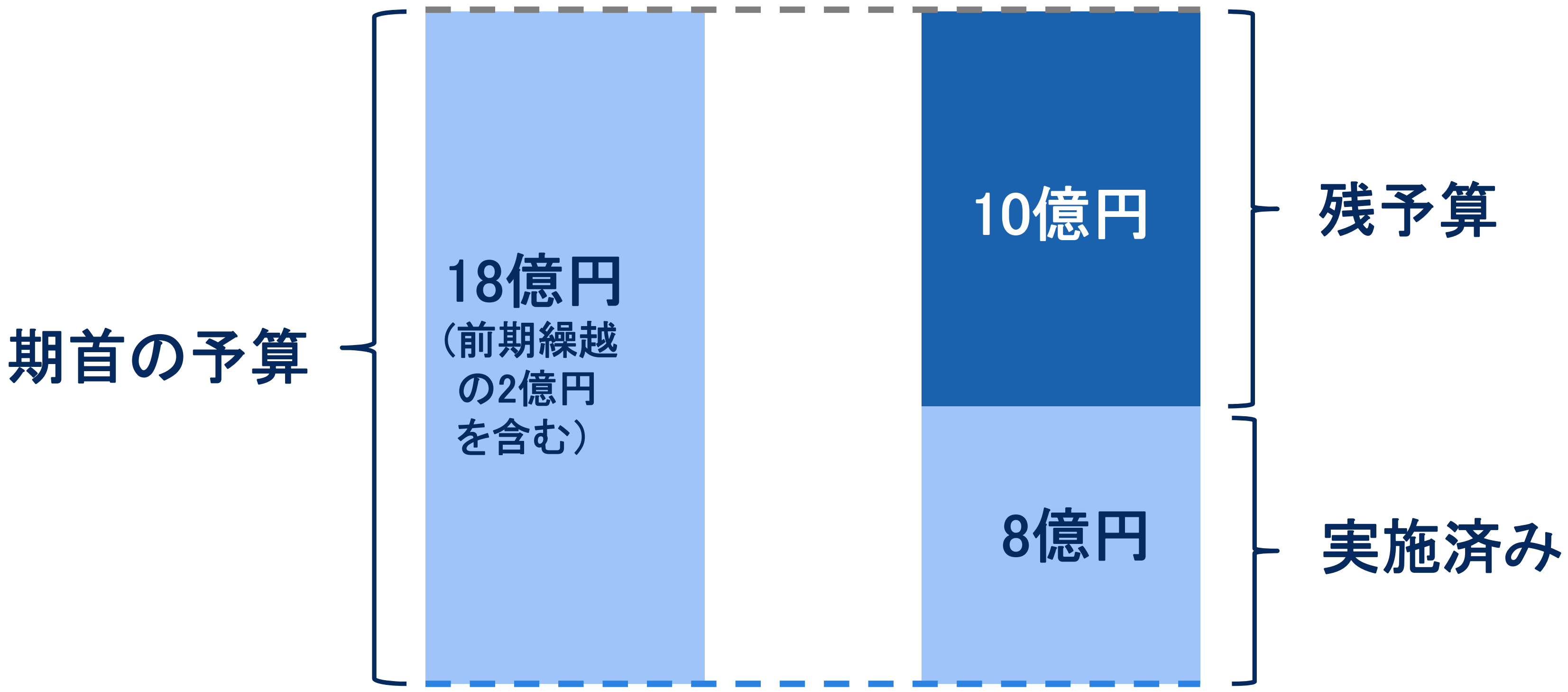
2014年の純利益22億円を100%還元

当社の成長のための主要な投資は人財であるが、投資した年の期間費用となる。従い、「成長投資後」の純利益は全て株主還元が可能

GCA SAVVIAN™

自社株買いの実施

2015年の自社株買いの実施状況



自社株買いの予算は残り10億円

個人投資家説明会の状況

当期から個人投資家説明会を実施

No.	日時	場所
1	2015年10月17日 (土) （開催済）	大和証券　東京本社
2	2015年11月26日 (木）17:30-18:20	SMBC日興証券　東京本社
3	2015年11月28日 (土）14:20-15:05	三菱ビル　Mプラス
4	2016年　2月25日 (木)　17:30-18:20	野村証券　大阪支店

2015年10月17日に第1回個人投資家説明会を実施しました。
当社ホームページのニュースで動画配信中です。
http://www.gcasavvian.com/jp/news/

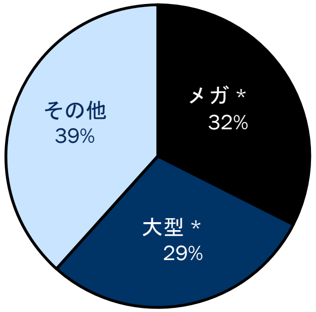
GCA SAVVIAN™

Appendix

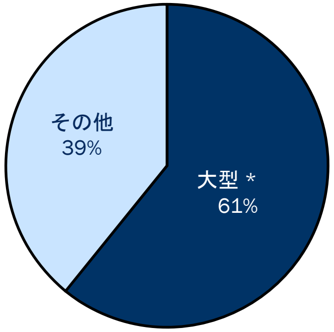
M&Aアドバイザリー事業の補足データ

大型案件比率 （金額ベース）

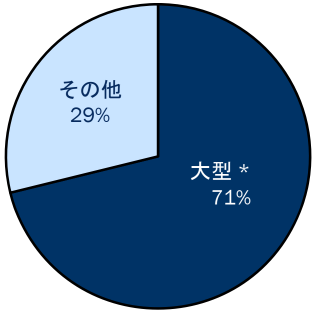
2012



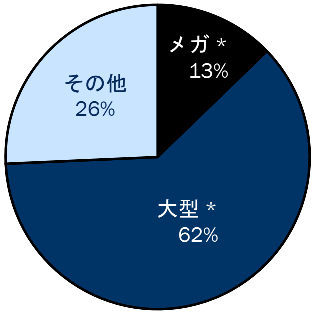
2013



2014



2015 3Q



プロフェッショナルの推移

四半期別平均	FY2014				FY2015				FY2015 3Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	期末
アドバイザリー日本	78	82	85	84	86	94	95		96
アドバイザリー米国	60	64	64	65	67	65	76		76
アドバイザリー欧州	1	1	1	1	1	1	1		1
デューデリジェンス	27	25	22	20	20	21	22		23
アセットマネジメント	9	9	9	8	8	8	7		6
	175	181	181	178	182	189	201		202

注(*) 大型は報酬金額1億円以上のもの、メガは報酬金額10億円以上のもの

“Trusted Advisor For Client’s Best Interest”

当社はグローバルな「上場Ｍ＆Ａソリューショングループ」＝「社会の公器」として価値創出型のＭ＆Ａソリューションを提供することにより、クライアントの成長と世界経済の発展に貢献してまいります。

GCA SAVVIAN™

本資料は、GCAサヴィアン株式会社の事業及び業界動向についてのGCAサヴィアン株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。GCAサヴィアン株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて、GCAサヴィアン株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載を更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。